

はぼろ

議会だより

ピツシリ

第130号

2024



11.14

定例会、臨時会 2

決算特別委員会 3

一般質問（4名）..... 4～7

総務産業常任委員会 8

文教厚生常任委員会 9

特集「意見交換会」

道庁への表敬訪問 10

認定こども園まき マラソン大会にて

9月25日撮影

●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会

〒078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278



令和6年 第6回定例会

本議会は令和6年9月11日から13日までの3日間の会期で開かれた。今回は報告2件、承認1件、一般議案9件(条例改正3件、規約変更1件、補正予算案5件)、諮問1件、発議3件、決算認定8件、意見案2件が審査され、提案どおり可決された。

一般質問は4名(5件)であった。

行政報告：8月9日の大雨被害

被害金額 約6億7700万円

一日でも早い復旧に対応していく

《報告》

羽幌町の私債権について放棄したので報告があった。

■一般会計「公営住宅使用料」
債権の金額 6万3340円
債権の件数 1件

【放棄した事由】

債務者が死亡し、相続人と折衝を続けていたが、連絡が取れなくなったことなどから、時効期間が経過したため。

■水道事業会計「水道使用料」
債権の金額 8025円
債権の件数 3件

【放棄した事由】

死亡及び所在不明により時効の援用確認が取れないため。



《承認》

■専決処分「災害復旧事業」
7110万円

※測量調査委託料他



《主な改正内容》

●「羽幌町地域包括支援センター」の基準に関する条例の一部を改正する条例」は、市町村が条例を定めるにあたって従うべき地域包括支援センターの職員に係る基準、及び当該職員の員数に関する基準が改定されたことから、条例の一部を改正。



《主な補正内容》

・会計管理業務経費

409万円

・地域魅力PR事業

101万円

・サンセットプラザ施設管理事業

1179万円

・GIGAスクール運営事業

154万円



●国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【全員賛成】

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

【全員賛成】



(7月29日開催)

令和6年 第5回臨時会

■議案1件を審査した。

《物品購入の締結》

・除雪ドーザ14t(旧13t)級の購入

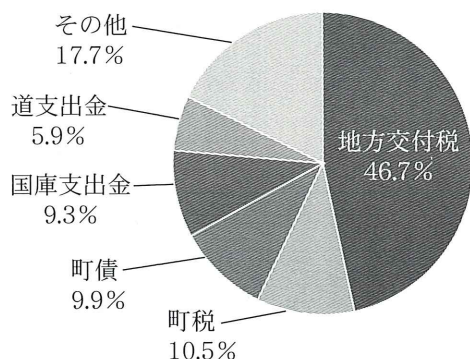
令和5年度 歳入・歳出決算を認定

歳出決算総額は 93億8650万円

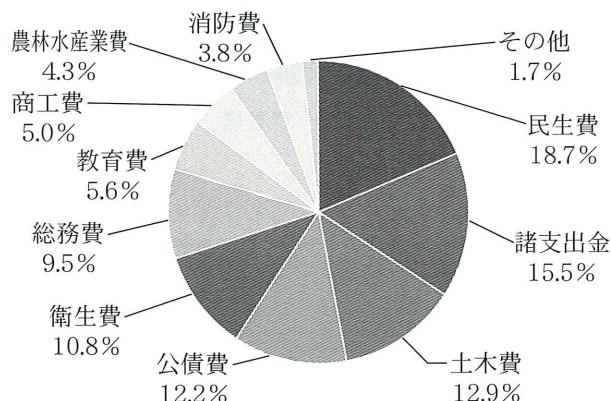
令和5年度各会計決算は、全議員での構成による決算特別委員会（工藤正幸委員長）に付託され、審議の結果、一般会計、各特別会計の歳入・歳出決算など、すべてを原案のとおり認定しました。

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引
一 般 会 計	71億5072万円	69億6342万円	1億8729万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	8億2638万円	0円
	後期高齢者医療	1億3806万円	36万円
	介護保険事業	10億6831万円	3268万円
	下水道事業	3億7037万円	705万円
	簡易水道事業	4411万円	15万円
	港湾上屋事業	1609万円	0円
合 計	96億1405万円	93億8650万円	2億2755万円

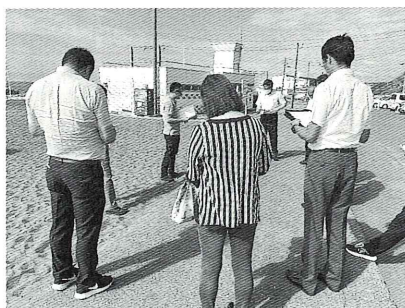
※表示単位未満の数値を切り捨てにしているため、数値が一致しない場合があります。



一般会計歳入割合



一般会計歳出割合



サンセットビーチを視察

【質問】「溺れた」助けた」等の事案はなかった。フロートステーションの下に入り込んでしまう危険性があるとの指摘を受けたので、十分に監視をしてもらっている。

【質問】サンセットビーチへのライフセーバー配置で、結果報告のやり取りはしているのか。

【回答】「妊娠届出状況は13人で、うち5人が参加している。単に多く参加すればよいというものではないが、保健師などから声掛け、情報を提供している。」

【質問】産後ケア事業について、参加状況は。

【回答】産後ケア事業について、参加状況は。

5年度決算審議の主な内容

※抜粋、要約したもの

【質問】外国人技能実習生の受け入れ状況、実績は。

【回答】漁業では9事業所、18人で、540万円の助成、製造業では3人で、90万円を助成している。



実習生が多く働く漁業関連施設

【質問】出張甘エビまつり、観光誘客推進事業の状況、評価は。

【回答】出張甘エビまつりでは北広島、旭川の2カ所でPR活動を行った。観光誘客では道内外の18カ所でパンフレットを配布するなど、羽幌町の魅力をPRし、一定の効果があつたと考える。

【質問】移住定住促進事業で実績はあつたか。

【回答】11月のフェアにはスケジューリング的な問題もあり、参加には至らなかった。

逢坂 照雄 議員



問 サンプラ浴場の整備は

答 随時可能な範囲で整備していく



一般質問
動画配信



いきいき交流センターの浴場

サン普拉浴場の現状認識と整備・修繕は
問 至るところに老朽化や管理不足等が見られる。浴場全体の現状をどのように捉えているか。
答 施設内の木や池の管理は指導する。浴場のタイルの一部が滑りやすい状況にあることは承知しており、施設内に注意喚起を表示しているほか、滑りやすい箇所にはマットを設置しているが、老朽化が進んでいるので、その他設備と同様に整備が必要であると認識して

いる。
問 床タイルの滑りは危険だと認識されていないのか。
答 滑りやすいのは認識している。危険性の喚起表示やマットなどで対応している。
問 現状における整備・修繕の優先順位は。
答 緊急性や利用者の要望、運営上の影響を考慮した上で、優先順位を検討し対応している。
問 危険性を考えると、床タイルや露天風呂の修繕を優先すべきではないか。

答 優先順位は高いものと考えているが、修繕には相当な経費と期間を要するので、今回については見送った。
問 早急に大規模な整備・修繕が必要ではないか。
答 いきいき交流センター全体の老朽化が進んでおり、大規模整備の必要性を感じている。しかし、多額の予算が必要なことから、町全体の事業を考慮しながらバランスの取れた財政運営を行うため、令和8年度以降の公共施設マネジメント計画を見直す中で、実施内容や時期を総合的に判断していきたいと考えている。
問 浴場で滑って転倒などをし、負傷して賠償となった場合、どこが対応し誰が補償するのか。
答 事故発生状況によって対応は変わるが、管理上の責任が問われた場合は指定管理者が、施設整備上の責任が問われた場合は施設管理者である町が、それぞれ加入している賠償責任保険により対応するものと考えている。



スポーツ公園内（園路）

スポーツ公園内園路舗装整備は
問 スポーツ公園園路舗装は、幾度となく一般質問で整備要望を行ってきたが、一向に整備されない理由は。
答 必要性は十分認識しているが、これまで排水設備や陸上競技場の改修など、多額の費用負担を伴う事業を緊急性や重要度等の判断により優先してきたことで、園路の舗装整備に至っていないものと理解している。
問 園路内の舗装整備は

常に先送りされている状況である。早急に整備すべきではないか。
答 整備の必要性は十分認識しており、その用途や使用状況も踏まえた中で耐久性のある整備を検討していくことも必要と考えている。整備費用も多額になると想定され、交付金等の活用も視野に検討する考え。令和8年度以降の公共施設マネジメント計画を見直す中で、実施内容や時期を総合的に判断していきたいと考えている。

阿部 和也 議員



問 空き店舗バンクの創設を



一般質問
動画配信

答 創設に向けた検討を進める

新たな空き店舗対策

問 空き店舗対策として、新たに「空き店舗バンク」を創設してみてもどうか。
答 企業数の維持に向けた空き店舗対策として、空き店舗バンクの創設に向けた検討を進める。
問 空き店舗活用事業の利用実績が無いと思うが、補助内容の拡充や見直し等は考えていないのか。
答 社会状況の変化を的確に捉え、本町に見合った支援制度になるよう補助要件などを含めた見直しを進める。

先進事例を参考に

問 下川町では「人財バンク」といった取り組みが行われているが、羽幌町でも町内企業と仕事を探している方や、Uターン希望者向けのマッチング事業など、新たな取り組みを検討してみてもどうか。
答 今後については、各関係機関との情報共有、検討を行うほか、先進事例や他市町村のさまざまな取り組みを調査し、本町に見合った支援策を検討していく。

サテライトオフィス助成制度の創設を

問 コロナ禍を経てテレワークが定着しつつあることから、都市圏の企業に対し、羽幌町が設けている各種助成制度の情報提供や、サテライトオフィス整備に特化した助成制度などを検討してみてもどうか。
答 情報提供については、時代に即した効果的な情報発信を検討していく。
サテライトオフィス助成制度については、国が推進するデジタル田園都市国家構想交付金を活用した地方創生テレワーク支援制度があることから、それら制度の事例調査と研究を進めていく。

建設業のDX化推進

問 災害復旧や除排雪業務の現場で業務効率化や労働力不足解消のために※DX化が進められているが、羽幌町として建設業のDX化についてどのように考えているのか。
さらに、DX化導入に向けた支援策なども考えて

いくべきだと思うが。
答 先進事例や関連業界等におけるDX化に関する取り組みを注視し、関係機関と情報共有等を行うなど、導入事業の継続性も含め、本町に見合った内容を精査しつつ、必要に応じて民間事業者に対する支援等を検討するなど、時代に即した取り組みを進めていく。
問 資金面の課題など、民間だけで始めるのは難しいこともある。行政としての関わりの中で建設業のDX化に繋げては。

答 災害時にドローンの活用などが緊防債の対象となることから、前向きに進めていく。国や一部団体などで重機に設備投資する際の補助金や、北海道でもDX化に向けた補助制度もあることから、情報提供もしつつ、各企業においてもDX化については、導入に対し様々な考えがあると思われることから、情報共有をしながら取り組んでいきたい。
※DX デジタルトランスフォーメーションの略



DX導入で業務の効率化を



一般質問
動画配信

問

スポーツ公園管理棟 整備は

答

管理棟整備検討は必要と考える



工藤 正幸 議員



管理棟

スポーツ公園管理棟の改修整備

問 老朽化している管理棟の改修に併せてトイレの整備も必要と思うが。

答 公共施設マネジメント計画を基本とした施設整備等の調整の中で検討していく。トイレについては、現在、A・Bそれぞれに球場に簡易トイレを設置し、サッカー場の利用者も含めて利用されている。また、陸上競技場の利用者についてはパークゴルフ場側に設置している既存の「ゆつたり

トイレ」を利用されていることと認識している。

今後においては、管理棟と併せてトイレの整備も検討していく必要があると考えている。

問 管理等の改修整備については、平成26年に公園施設長寿命化計画の中で策定してからすでに10年が経過し、老朽化も著しく進んでいる。事業の優先度を高めて実施に向けた検討をすべきと思うが。

答 長寿命化計画には載せていたが、町全体の事

業の中で重要度を考える中ではスポーツ公園の整備は遅れてきたと認識している。

今後、教育局の大規模事業が続く中でも何とか緊急度、重要度を上げながらやっていきたいと思っている。

問 現在、A球場とB球場に簡易トイレが設置されているが、今後、管理棟の改修整備がされる際には、すべての競技施設を利用する方が十分に使用できるトイレも整備するべきだと思うが。

答 管理棟の改修整備ができるようになった時にはトイレも整備したいと考えている。

公園内の舗装整備

問 公園内の道路舗装整備と駐車スペースの舗装整備はどのように進めていくのか。

答 特に公園内の園路の整備については、耐久性のある舗装を検討する必要があると考えている。また、整備費用が多額となることも想定される



舗装整備が望まれる園内の道路

ので、財源については交付金等の活用も視野に入れ、様々な角度から検討する必要があると考えている。

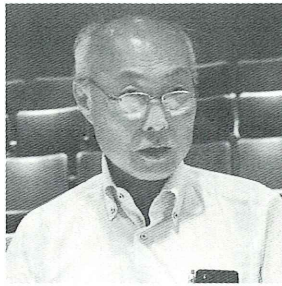
問 公園内の園路舗装整備は、次の世代に引き継ぐことも考え、公園の入り口からサッカー場までと、B球場に至るまでを舗装整備すべきと思うが。

答 長寿命化計画の中でも公園入口からサッカー場の際、管理棟までと、そこからB球場までを舗装整備したいということ

問 公園内の駐車スペースの舗装整備は、陸上競技場側にバス等の大型車両のスペースと管理棟の近くに一般車両のスペースを整備し、A球場の三塁側、B球場の一塁側に一般車両の駐車スペースを整備すべきと思うが。

答 園路及び駐車スペースの舗装整備の必要性は認めているが、費用が多額になることから、国の交付金や、有利な助成制度がないか調べている。議会とも相談しながらやっていきたい。

金木 直文 議員



問 マイナ保険証 準備や対応は



一般質問
動画配信

答 事務を適切に 丁寧に説明する

マイナ保険証の 現状と対応

問 政府は昨年、マイナンバー紐づけの総点検を行ったが、点検終了後も紐づけの誤りが報告され、一連の点検作業によって9,000件を超える紐づけミスが発覚している。そうした中で、国民の多くが現行保険証の原則廃止に不安を感じている。羽幌町におけるマイナカード取得状況、健康保険証利用登録状況、マイナ保険証としての利用実績はどうか。

答 令和6年7月末現在、マイナカード保有枚数は45,000枚、全町民の73・3%が保有している。6月末現在、国保被保険者数13,315人のうち、マイナ保険証としての利用登録は770人で58・5%、同月の利用者は140人で受診総数に占める利用率は9・64%。後期高齢者医療保険では、6月末現在、16,077人のうち、利用登録は796人で49・5%、利用者は134人で受診総数に占める利用率は5・3%。



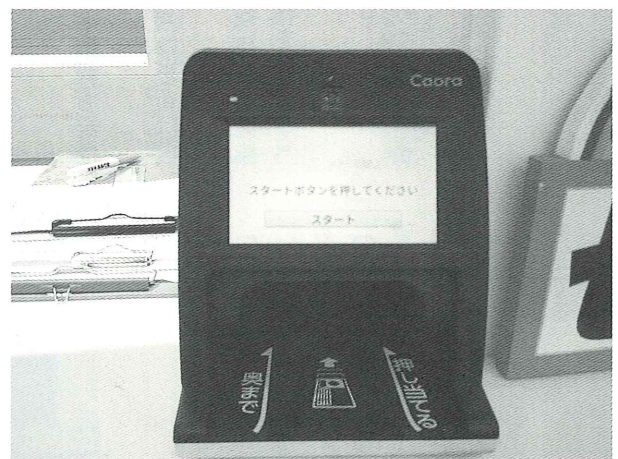
マイナ保険証への登録を促すポスター

問 マイナ保険証利用でのトラブル、不安の声は。
答 医療機関窓口での機器の不具合が1件。今までの使い慣れた保険証から、新しくパスワードや顔認証を必要とすることでの不安を数件確認している。利用方法やメリットなどについて丁寧に説明し、少しでも不安解消となるよう、努めている。
資格確認書を交付
問 従来保険証の廃止、マイナ保険証実施に伴い、資格確認書の交付など、担当部署での準備や対応はどうか。

答 従来の保険証が廃止となる12月2日までに発行されている保険証は、最長1年間は引き続き利用可能。国保の場合、7月に保険証を更新しており、7年7月31日までは更新された保険証を利用できる。12月2日以降は、紛失等による保険証の再発行や他健保から国保への移行などによる新規発行はできなくなることから、マイナ保険証を利用することとなるが、マイナカードを持っていない方や利用登録をしていない方には、保険証の代わりとして「資格確認書」が交付される。必要なシステム改修や準備作業は順次進めており、周知広報していく。

延期や見直しの動きも
問 道内自治体において「現行の健康保険証の存続を求める意見書」が決議されたり、全国紙、地方紙の社説等にも延期や中止、見直しといった主張が見られる。町長の認識はどうか。

答 マイナカードの取得や保険証への利用登録などの手続きを含め、短い期間で早急に進められている印象もあり、不安な方も少なくないと感じている。医療機関においてもマイナ保険証に対応するため、窓口システムの改修も必要となり、大変苦勞されていると思う。町としては、事務を適切に行い、窓口での対応や町広報を通じた周知など、丁寧に説明を行うよう指示している。



マイナカード用のカードリーダー

総務産業常任委員会

デジタル化推進

(8月22日開催)

◆デジタル化に伴う補正予算

(1) 勤怠管理システムの導入
出勤簿、休暇申出書、時間外勤務命令簿などの管理は、現行の紙とハンコによる決裁からシステムを使った電子決裁に移行することで、紙の無駄を省き業務の効率化を図る。

【補正予算の概要】

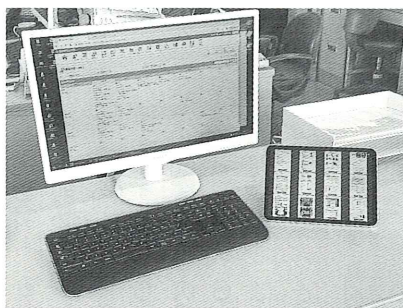
- ・ 初期導入費用 110万円
- ・ 月額使用料(3カ月分) 24万7500円
- ・ カードリーダー 3万7620円
- ・ カード(300枚入り) 8万2500円
- ・ 既存給与システムテスト費用 17万1600円

(2) タブレット端末・ペーパーレス会議システム導入
現行の会議では、紙の資料を使用していたが、今後デジタルを活用したペーパーレス会議システムに移行するため

の準備を進める。

【補正予算の概要】

- ・ タブレット端末 145万2000円
- ・ ペーパーレス会議システムスマートディスプレイ 21万4500円
- ・ 導入費用(5カ月分)



デジタルシステムを活用

(3) 文字起こしシステム導入

AIによる音声データの文字起こしシステムを導入し業務の効率化を図る。

【主な補正の内容】

- ・ 月額基本料5千円+利用料 合計13万2000円

《主な質疑》

【質問】電子決裁は全庁導入するのか。また、電子決裁には今後導入するタブレットを使うのか。

【回答】現在、デジタル推進課と一部の課だけで試験的に導入しているので、これらの推移を見ながら全庁展開を図りたい。電子決裁に関しては、タブレットとは関係なく、パソコンで使えるシステムになる。

◆事業の内容

既に導入済みの電子申請フォーム、ビジネスチャット、自治体AIツール、テレワークシステム、ペーパーレス電子回覧システム、メールクライアントの高機能化、公用車使用簿のフォーム化、行事予定のGoogleカレンダー化、羽幌中学校ホームページ開設に加え、10月に開設予定のLINE公式アカウントについて、担当課長より説明を受けた。

観光情報を発信

◆道の駅情報発信用デジタルサイネージ購入

令和4年度及び令和5年度

の企業版ふるさと納税20万円を活用し、道の駅における情報発信用デジタルサイネージを購入するもの。多くの観光客が訪れる道の駅において、羽幌町の観光情報をはじめ特産品やグルメ情報など、観光客の満足度向上、観光消費額の拡大などを図る。

また、近年増加傾向にあるインバウンド対策として情報発信の多言語化にも活用するもの。

【内 訳】液晶モニター(スタンド込み) 23万1000円

《主な質疑》

【質問】町で実施するイベント等の情報は見ることができなのか。

【回答】イベント情報も発信していく。

【質問】映像情報の更新はどこで行うのか。

【回答】観光振興係と観光協会連携して情報を発信する。

施設内の安全確保

◆いきいき交流センター施設の修繕

温泉施設の修繕について、営業休止などの影響を極力抑

えるため11月11日～15日に予定している休館日に合わせて実施する。

【内 訳】

- ・ 浴室鏡交換
- ・ サウナ室改修
- ・ 温泉側駐車場階段改修 1167万1000円



いきいき交流センター

《主な質疑》

【質問】町民から外階段部分に、手すりの設置を望む声があるが、どう対応するのか。

【回答】手すりについての要望は聞いている。次年度以降の実施を検討していく。

【質問】財源は単費か。

【回答】まちづくり事業基金を充てる。

部活動の発展へ

(8月22日開催)

◆部活動の地域移行

1 経過

学校部活動はスポーツや文化・芸術に興味や関心のある生徒が自主的に参加し、責任者の指導の下、学校教育の一環として行われてきた。しかし少子化による生徒の減少に伴い教員も減少し、従前と同様の部活動運営が困難なことや、「働き方改革」が進む中で、これまでと同様の取り組みを維持していくことが難しくなってきた。道が策定した推進計画には、市町村における取組として「地域における新たなスポーツ・文化芸術等に親しむ環境の在り方」が示されており、当町ではまず、休日部活動の段階的な地域クラブ活動への移行を重点的に取り組んでいきたいと考えている。その他の取組についても必要に応じて検討し、できるところから少しずつでも前に進めていきたいと考えている。

2 羽幌町の現状

羽幌町においては、一部の部活動においては地域に移行して活動しているが、地域移行していない部活動については国や北海道が示すガイドライン等に従い取り組んでいく必要があることが報告された。

(1) 地域移行していない部活動
バレー・サッカー・卓球・吹奏楽(以上羽幌中) バトミントン(天売中) 卓球(焼尻中)

(2) 指導等一部地域移行済
陸上・柔道・剣道・スキー

(3) 地域移行済
野球・バスケットボール・空手・ダンス

《主な質疑》

【質問】教員の業務負担の軽減がメインという理解で良いか。

【回答】その面もあるし、少子化やそれに伴う教員数の減少により部活動の維持が難しくなっている。

【質問】過疎地では団体や人の確保がかなり難しいと思うが、期日等目途はあるのか。

【回答】国や道で示している

のは令和7年度までの期間を重点期間として取り組むことが示されているので、一つの目安として、地域移行の可能性を探っていききたい。

【質問】現在地域移行済である指導者の身分は、また地域移行しても学校教育活動なのか。

【回答】今後各団体との協議の中で、既存団体の中で指導者がいるとなれば、その団体に移行することも考えられるが、詳細は協議しながら進めていきたい。また、地域移行した場合には学校活動の枠からは外れるものと理解している。

【質問】学校活動の枠から外れるとなると、ケガをした時や情報漏洩等の懸念があるが。

【回答】保険による補償の部分は、国のガイドラインに沿って対応する。情報漏洩等の懸念事項はクリアすべき課題と認識している。



部活動の地域移行が進む
羽幌中学校

新型コロナ対策

(8月22日開催)

◆新型コロナワクチン接種費用

新型コロナウイルスワクチンについて、令和6年度から予防接種法上の定期接種に位置付けられたことにより、これまでの特別供給体制から定期接種への移行に伴う激減緩和措置として国の助成事業が実施される。これに加えて町でも費用の一部を助成し、今年度の定期接種対象者の自己負担額を3千円とすることの説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】任意接種の方は町助成がないので全額負担か。

【回答】国からの助成は入るので、病院の考え方にもよるが7千円程度になると思う。

【質問】接種回数、接種時期及び接種場所は。

【回答】秋冬1回、接種場所は医療機関の中と考えている。

【質問】以前のように会場を設けて1カ所ではならないのか。

【回答】提案はするが、医師・看護師の意見を尊重したい。



予防接種会場の道立羽幌病院

【質問】ワクチンは羽幌町内で接種しなければならぬのか。

【回答】費用の委託契約を締結して実施するため、助成が適用となるのは町が行う集団接種での場合のみ。

【質問】インフルエンザの予防接種も重なり、院内接種だと病院側の負担も大きいと思うが。

【回答】別会場で実施すれば接種時間は短縮されるが、医療従事者の移動に時間を要することの負担が大きいという側面もあり、院内接種の方向で検討している。

特集

意見交換会

開催

令和6年8月6日
中央公民館 小ホール

いちい大学の皆様
参加していただき、貴重なご意見ありがとうございました。



参加者からの主な意見・要望

【ほっと号・ハイヤー事業への主な意見】

- ・ハイヤー乗車券交付対象者年齢は80歳以上になっているが、年齢を75歳まで下げてもよいのでは。75歳ぐらいで免許返納を考えている人たちがいるのでよいのではないかと。
- ・ほっと号は祝日の運行がないので不便だ。

【除排雪への主な意見】

- ・降雪の多いときは、夕方でも除雪してほしい。
- ・十字路「交差点」の雪を残さず、十字路で排雪してほしい。
- ・家の出入り口に除雪の雪を置いて行かれると高齢者にはとても大変なので少し気を付けてほしい。
- ・除雪車が通った後は、固くてとてもたくさん雪を置いていく。一人暮らしの高齢者には泣きたいくらい大変な思いをしている。
- ・他の町村で、除雪した後には各家庭の前に残された雪をショベル車が来て排雪していくと聞いたことがある。経費や職員の配置など事情はあると思うが、高齢者が自宅の前に残

された雪を退けるのは体力的にも無理だと思う。

【はばろ温泉サンセットプラザへの主な意見】

- ・温泉側入り口手前の階段が破損している。足をくじく可能性があるがあるので毎日階段を掃除してほしい。
- ・浴場の床タイルが滑るので転ぶ人が何人もいる。
- ・洗いの鏡が曇って見えにくいので、新しいものに変えてほしい。
- ・サウナ室の時計が見えにくいので新しいものに変えてほしい。



4年ぶりの意見交換会

【医療に関する主な意見】

- ・遠い病院に通えないので大変困っている。痛いところがあっても我慢していて、加藤病院があればよいなと思っている。

・道立病院しかなくなり、大きい病気で札幌へ通院している人もたくさんいる。往復すると一度で交通費だけでも一万円以上かかり、月に何度か行くと大変な負担になる。国民年金では生活が大変だ。

【その他の主な意見】

- ・他の町村の道の駅では、地元の特産品などを販売して人気を集めている。通過するお客さんがトイレを利用するだけでなく、羽幌産の海産物や農産物などを購入できる道の駅にするとうれしいと思う。
- ・生ごみの袋、今の袋は溶けやすく中ものが出て臭いがあるので、ごみ収集をされている方が気の毒、改良できないか。
- ・生ごみの袋、1リットル、2リットルの袋も家族の少ない家庭には必要だと思うので考えてください。
- ・70歳以上の町民に年2回無料入浴券が配布されているが、できれば月1回、年間で12回無料入浴券を配布してほしい。

今回の意見・要望を、町への政策提案など今後の議会活動に活かしたいと思います。

地域医療の充実

◆道庁への表敬訪問

7月31日に北海道の医療関連部署等へ表敬訪問を実施。北海道道立病院局と天売・焼尻診療所を管轄する保健福祉部地域医療推進局それぞれの業務担当者へ挨拶を兼ね、今後の課題や要望等について意見交換を行った。

議会からは村田議長、平山副議長、阿部議員、小寺議員、工藤議員、町からは森町長、鈴木健康支援課長が参加した。



道の医療関連部署と意見交換